

平成30年度 京都 鹿志館「臥薪稽古会」へのお誘い

前略、災害が多発していますが御地は如何で御座いましょうか、お伺い申し上げます。願わくば先生並びにご一門の皆様には被害無く、お元氣でご清武の御事でありたいと心より願って居る今日この頃です。お陰様で小生並びに鹿志館一門、今般の諸災害では大きな被害も無く、無事にお稽古を続けさせて頂いておりますのでご放念下さい。

さて、本年も以下のとうり拙一門の「臥薪稽古会」を開催すべく準備中でございます。稽古内容が「5回の模擬試合と、八段の先生方をお手本に全剣連居合を300本抜く」と云う方式で行います関係上、参加人数を制限せざるを得ない状況は従来と同様です。

ご参加戴ける教士八段以上の先生方から直接に「適切なアドバイスをして戴ける」機会を設けますと共に、午後からは先生方も一緒に抜いて戴いて最も重要な「間と間合い」を学ぶ事チャンスも作りたくと、欲張った方式も厚顔ですが変わりません。

従いまして誠に勝手な申し様ではございますが、前述の事情がございますので然るべきご門下生方に絞り込んで戴き、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

【臥薪稽古会・実施日時】

平成30年12月9日(日) 午前9時頃に開始 (16時頃 終了の予定)

〔会場〕京田辺市田辺丸山19「京田辺市中央体育館」(TEL 0774-62-1501)

JR「京都駅」より、近鉄電車に乗車し「新田辺」駅下車(約25分)

西側に出てタクシーで約10分程度で到着します。

【参加資格】 極端に参加人数が制限されますので、勝って乍ら鹿志館側で指定させて頂きます

- ① ご協力頂ける「範士及び八段の先生方」の門下生。(5名以内限定)
- ② 指定した各大学の居合道部は当方の割り当て人数以内とします。
- ③ 鹿志館館長が参加を認めた方(京都の社会人団体及び鹿志館の門下生、その他)

【稽古方法】 午前中 近段位者6人によるリーグ戦(試合回数は一人当たり5回戦となります)

各コートに範士又は八段がアドバイザーとして入って頂きご指導願います。

* 各コートの優勝者と2位に小さな楯を謹呈いたします。

「ときめき」カードを中心に、各会場別に各個人宛に指導。

(各個人への具体的な課題、改善点を指摘) 約45分間程度。

【参加費用】 一人 4,000円 (昼食弁当とブランチア金を含む)

八段以上の先生方は当然無料です。(ご指導料はご容赦願いたい)

〔申込締切日〕 平成30年10月10日 厳守でお願いします。

〔送付先〕 〒610-0343 京田辺市大住大坪42-10 「森田忠彦」宛

* 参加費用は申込書に同封添付して下さい。

以上

◎ご報告 昨年の残金「35,113円」は国境なき医師団の支援金として寄付致しました。

平成30年 鹿志館「臥薪稽古会」の運営・実施要項

午前中に行う事柄

近段位者6名によるリーグ戦（試合回数は一人5回となる予定です）

- 1) 事前に参加申込書により「近段位者6名の班編制」を当方で行います。
- 2) 6人1班を2組（A班とB班）を1セットとしてA班の試合をB班が審判し（5審判）逆にB班の審判をA班が審判してリーグ戦を進行させます。

（1会場内は受講者12名と範士又は八段のアドバイザー1名の13名構成です）

* 審判の判定根拠は全剣連居合・教本の「着眼点」を第1根拠とし、次に審判規則第11条と細則第7条を根拠に判定して下さい。

A班の試合をB班6人が交代で審判（5審判、1人が時計係）して進行させ最終の判定は「勝敗数では無く」各自の「取得旗本数の合計」で競います。

【特別ルール】……〔集計時に取得の合計旗本数よりマイナスする内容は〕

審判の最中に 自分一人ダケ、逆に旗を揚げた時は「マイナス1本」とする。
試合者側では 記録の誤記入は重大な過失として「マイナス2本」とする。

【八段以上の先生方をお願いする事柄】（八段の先生方が欠員の時は七段が入ります）

ご担当頂く12名全員に目配りを頂き、具体的には「トキメキ・カード」にご記入下さり、各人に手渡しつつご指導を賜りたい。

- 1) 紙が小型なので一人宛2枚です。出来るだけ☑印を多用して簡略に！
 - 2) 試合中の判定にも目配りをお願いします。（何が是で、何処が否なのか）
 - 3) 具体的な根拠を元に、アドバイスをお願いします。〔約45分間、程度〕
- 12時で模擬試合場を撤去させて頂き「一斉稽古用の会場」作りをさせて頂きます。

午後に行う事柄

13時より一斉稽古 抜き本数予定は300本。【180本で「刀の手入れ休憩」有り】

- 1) 範士と八段が元立ちとなって、向かい合わせに受講者が班別に並びます。
（稽古方法は「間と間合いの写し稽古」が狙いです）

受講者は予め床に貼付けた開始線を参考に12本を1セットとして移動。
全員が「太鼓の音を合図に手を掛け」一斉に同一動作で稽古を行う。

- 2) 180本迄は一気に抜く予定です。（所要時間 約90分～100分程度）

一斉に移動しますので途中での離脱は大変危険です、ご気分が悪くなった際は、早めはその旨を大声で「係員」にお知らせ下さい。

呉々も「事故や怪我の回避を最優先」にしたお稽古をお願いします。

蛇足乍ら「この稽古会の狙いと効能」

- ① 参加者全員に5試合を経験して頂く（大会での優勝戦に至る試合回数に匹敵）
- ② 試合者全員に範士や八段からの的確な「各個人向けのアドバイス」が得られます。
- ③ 一斉稽古を通じ範士や八段の先生方の「間と間合い」を学ぶ事が出来ます。
- ④ 300本を抜く稽古を体験して頂きます。【180本で「刀の手入れ休憩」有り】
- ⑤ 5戦5敗は強烈な「ショック療法」となり得ますが、後遺症も有りそうなので「吉と出るか凶と出るかは本人次第」とお心得下さい。

以上